

青年部通信

発行者 神奈川県管工事業協同組合青年部広報委員会
 号数 第2号(発行日 2012年9月10日)
 【<http://www.kensui.or.jp/seinenbu/index.html>】

【災害ボランティア報告】



9月7日～8日で福島県南相馬市へボランティアに行っていました。第3回目となる今回は19名の参加でした。この福島県南相馬市の中でも小高区は、震災後の原発事故により警戒区域に指定されたため復興作業が遅れている地区です。今回も組合本部よりボランティアセンターから要望のあった水を協賛していただきました。前日宿泊した福島市内のホテルを朝6時半に出発し、ボランティアセンターには予定通り8時過ぎに到着です。到着後すぐに持参した水のペットボトル40ケースをお渡しし、作業説明を受けて現場へ案内されました。



水のペットボトル搬入



作業説明を聞く部員



モニタリングポストの数値

今回の作業は事前に伺ったガレキ除去ではなく草刈りに変更です。南相馬市小高区は、現在は自由に出入り可能ですが今年の春までは立入制限されていました。今でも夜間の滞在は規制されていますので夜は人がいません。作業は基本的に住民からボランティアセンターへ依頼があり、その内容を検討してセンターが振り分ける方法となっております。短い時間内で出来るだけ要望に近い状況まで作業を進められるよう頑張っていました。



現地での作業説明



草刈り作業の状況



草刈り作業の状況

当日は風がりましたが気温は30度を超えて非常に暑い中での作業でした。草刈りという事でカブレたりしないよう長袖を着たまの作業ですから、熱中症対策で作業を30分行ったら10分休むというサイクルで午前中を終了しました。

昼食は経済支援と言うことで、原ノ町のお弁当屋さんへ依頼してセンターまで届けていただきました。午後も引き続き草刈り作業を続けます。かなり慣れてきたのか作業効率が上がり驚くほど早く進んでいきました。



草刈り作業の状況



刈った草を運ぶ部員



かなり慣れた草刈り

センターの指示が少し間違っていて、かなり広い面積の草刈りを行いました。予定時間より30分程早く終了しました。面積は約1000㎡(300坪)くらいでしょうか。



草刈り作業の状況



作業終了



開始前と終了後に黙祷

昼休みを利用して30分ほどですが現地を視察してまいりました。先述の通り復旧が遅れているのを目の当たりにしました。ここは震災から時間が止まっている、そんな気持ちになります。南相馬市の復興にはまだ時間がかかる事を痛感いたしました。



津波で破壊された家



堤防も破壊されている



神社の灯籠も崩れたまま



車の残骸が至る所に



津波に耐えた二本松



錆びた常磐線の線路

作業休憩中に近所の方々とお話しする機会がありました。皆さん避難生活をされながら昼間に家の片付け等にいられているそうです。もちろん夜は避難先(郡山など)に帰られます。お住まいの家は高台ですから津波の被害もありませんでした。ですが帰ることが許されないのです。出来るだけ早く戻りたいけど、現実にはいつになるか分からないとお話しになっていました。まだまだ復興に時間のかかる地域は多くあります。この震災を風化させることなく復興の微力となれるよう、青年部は今後も色々な方法で支援を続けてまいります。

神奈川県管工事業協同組合青年部広報委員会